

Policy Paper I ～「イタイコト」を見つけるために～

Country: United States
Name: _____

1 【内政】

(1) あなたの担当国には、大量破壊兵器やテロ、民主化に関して指摘されている事例があるか？

かねてより大量破壊兵器保持の疑いがあるイラクに対して査察の協力を要請してきたが、イラクが非協力的であることから安保理決議 1115 を発表し UNMOVIC の設立を決定。湾岸戦争の際にフセイン政権を追い詰めなかったことに対する非難の声も一部で上がっていたため、2002年11月8日に安保理決議 1441 にてイラクの態度に対する深い懸念を示した。

テロに関しては、9.11によって国内でイスラム過激派及びテロリストへの批判的感情が一気に高まった。これを受けて同年、テロ組織アルカイダを匿い結託している疑いがあるアフガニスタンへ介入し、テロ首謀者への報復に成功。

またテロ組織との癒着が疑われていたアフガニスタンの民主化も押し進め、新政権への移行に寄与した。この成功例を参考に、イラクならびに中東全体でも民主化を推進していく方針を取っている。

(2) (1)での回答を踏まえ、あなたの担当国は、国際社会の大量破壊兵器やテロ、民主化に関する関与・介入に対して、一般的にどのような姿勢を示すべきか。

- ・イラクを潰しておくべき（フセイン政権に介入）
- ・テロ対策の先駆者
- ・アフガニスタンのように世界の警察として責任を持ってイラクを民主化させる

2 【外交政策】

(1) あなたの担当国は、これまでのイラク関連の会議において、どのような態度をとってきたか？

- ・イラクが大量破壊兵器を保持しているということを前提にしている
- ・テロ撲滅の第一人者としての自負あり
- ・単独行動主義（ユニラテリズム）
- ・武力行使を辞さない

(2) あなたの担当国は、これまでのイラク以外の大量破壊兵器やテロ、民主化関連の会議において、どのような態度をとってきたか？

- ・9.11以降の強い対テロ姿勢→他の欧米諸国と価値観の共有
- ・民主化トップダウンのイニシアチブを取る Ex. アフガニスタン戦争
- ・核抑止力を保持しつつ、INF/STARTなどで核軍縮の流れを作り出す
- ・生物兵器や地雷など非人道的兵器に対しては断固反対

(3) (1) (2) での回答を踏まえ、今回の会議でどのように取り組めば、過去の政策との継続性が得られるだろうか？

- ・以下の点でイラクには断固反対する
大量破壊兵器の保持（特に生物兵器）
テロ組織との関係
- これらへの対処においてイニシアチブをとっていく

ただし、抑止力としての核は残しつつ軍縮を進めていく流れ（世界の警察、大国としての役割を意識）

(4) 今回の会議で外交政策の変更を行う蓋然性はあるか？あるとすれば、それは、どのような変更か？

- ・他国の出方を見て変更する可能性はあり
- Ex. フランス 武力行使が国際法にかなっていないことを示せば拒否権発動しない？（そもそも国際関係のあり方について米国と真っ向から対立しているため、実際にフランスと交渉するのは難しい可能性大）
- ・査察の有効性が証明されるかどうか
- これが証明されなければ武力行使に正当性を持たせることができる

3 【イイタイコト】

(1) 1・2 を踏まえ、あなたの担当国の主張が幾つかみえてきたと思われるが、それらの優先順位はどんなものか？

- ①テロ撲滅&査察が有効でないので開戦するべきだ（査察を継続しても意味がない&イラクが非協力的なのは実際に武器を保持しているからだ）
- ②「平和のための武力行使」が必要&湾岸戦争時の経験もある
- ③イラク（中東地域）の民主化を図るべき□湾岸戦争時の経験もある

(2) あなたの担当国のボトムライン（交渉の際にこれ以上は譲歩出来ないという線）はどこか？

- ・査察はイラクに対して有効でないことを示す（イラクは非協力的、これ以上続けても無駄）
- 武力介入が必要 という流れ

Policy Paper II ～「イイタイコト」を実現するために～

Country: United States

Name: _____

Policy Paper I において、それぞれ「イイタイコト」が見つかったことと思われます。次に考えるべきは、その「イイタイコト」をどうやって会議の中で実現していくかですね。その手段として、「決議案 (Draft Resolution: DR)」、「公式発言」、「議論」、「交渉」と様々な場が考えられますが、それぞれの手段の特性を活かせる方法を考えてみてください。

なお、本ペーパーにおける「議論」とは「理屈を通すことで解決 (コントロール) できる」ものを意味し、「交渉」とは「理屈を通すことだけでは解決 (コントロール) できない」ものを意味することとします。

1 【DR】

(1) あなたの担当国は、DRを書くとき周囲から予想される国であるか？また、今回の会議において、実際どうするつもりか？

DRを書く可能性が非常に高い。今回の会議でも基本的には書く方針。

(2) あなたの担当国がDRを書く際に強調する点は何か？DRを書かない場合は、どのような文言であれば理想的か？

- ・テロ撲滅&査察が有効でないので開戦するべきだ (査察を継続しても意味がない&イラクが非協力的なのは実際に武器を保持しているから)
 - ・「平和のための武力行使」が必要
- *DRを書かない想定はない

(3) あなたの担当国がDRを書く/読み込む際に注意する点 (表現) はあるか？あるとすれば、それは何か？

- ・「あらゆる手段」を尽くした上での「最終手段としての」武力行使であること
→時間的猶予がないという主張が必要
- ・悪いのはフセイン政権であることを強調
- ・単独行動ではなく、あくまで国際的に共通の利益を目指した行動であることを強調
- ・石油資源の獲得も視野に入れていることには触れない (人道的目的での武力行使)

2 【公式発言】

(1) DRでは表しにくい公式発言では表明しやすいことはあるか？あるとすれば、それは何か？

現時点では特になし

(2) あなたの担当国が公式発言において強調する点は何か？

- ・テロ撲滅&査察が有効でないので開戦するべきだ（査察を継続しても意味がない&イラクが非協力的なのは実際に武器を保持しているから）
- ・「平和のための武力行使」が必要

(3) あなたの担当国が公式発言をする/聴く際に注意する点（表現）はあるか？あるとすれば、それは何か？

発言する際

- ・「あらゆる手段」を尽くした上での「最終手段としての」武力行使であること
→時間的猶予がないという主張が必要
- ・悪いのはフセイン政権であることを強調
- ・単独行動ではなく、あくまで国際的に共通の利益を目指した行動であることを強調
- ・石油資源の獲得も視野に入れていることには触れない（人道的目的での武力行使）

聴く際

- ・他国の出方（特に中間派が即時開戦派につく可能性がありそうかどうか）に注目
- ・査察継続派の国々による決議案の理由付けに対して、どのように反論する可能性があるか
- ・他国（査察継続派、中間派共に）に関する仮説を検証する

3 【議論】

(1) あなたの担当国と議論になりそうな国（相手）はどんな国か？

- ・フランス
- ・チリ

(2) (1)での回答を踏まえ、相手国の主張に反論する「理屈付け」は何か？

フランス→査察が有効でない&フセイン政権は非協力的である
チリ→武力行使は正当である&時間の猶予がない

(3) (1)での回答を踏まえ、あなたの主張への相手国からの反論に耐える「理屈付け」は何か？

フランス→イラクは査察に協力的、兵器は存在しない+武力行使は国際法に反する
→湾岸戦争の時の脅威を再度強調 査察の有効性に対する疑問を提示

チリ→武力行使しなくても問題を解決できるのではないか
→過去の事例を持ち出す（武力行使を躊躇ったがために、取り返しのつかない結果となった Ex. ミュンヘン会議における英仏の宥和政策）

4 【交渉】

(1) 交渉による解決を目指す際に、barter (取引材料) となるものはあるか? あるとすれば、それは何か?

- ・チリに対して、賛成すれば米との経済的結びつきを強められるという条件提示
- ・パキスタンに対して、核の保有に関する条件提示
- ・ロシアに対して、テロの脅威を共に排除して内政を安定させないかという提案+冷戦後疲弊しているため対立したくないという事情を共有
(・中国に対し、もし米側につく可能性がありそうであればアプローチを考える)

(2) 交渉には、二国間 (バイ) のものと多国間 (マルチ) のものがあるが、それらをどのように使い分ければよいだろうか?

多国間→万国共通の利益 (平和) のための行動という面を強調

二国間→さらに複雑な利害関係を強調 (バーター)、「敵の敵は味方」理論を使える?

* 中間派はどちら寄り (即時開戦派、査察継続派) か、実情を見極めて使い分ける必要あり

Policy Paper I ～「イイタイコト」を見つけるために～

Country: _____ China
Name: _____

1 【内政】

(1) あなたの担当国には、大量破壊兵器やテロ、人権侵害に関して指摘されている事例があるか？

- ・人権侵害→共産党一党独裁体制を取っており、言論や思想の自由を大幅に制限しているとの指摘が国内外からある。異論を唱える人民のみならず、国内の少数民族民族などに対しても深刻な人権侵害を行っているとのこと。
- ・大量破壊兵器→大量破壊というほどではないにしろ、南シナ海での軍事行動など、周辺国に対して軍事的圧力をかけることが多い。制裁にも関わらず NK が核実験を行えるのは China が決議通りの制裁を厳格に履行していないからだとも国際社会に疑われている（石油については 2013 年以降ほぼ同量を供給し続ける）。
- ・直接(1)には関係ないが、～2008 年の六者協議を主導していた実績あり。¹

(2) (1) での回答を踏まえ、あなたの担当国は、国際社会の大量破壊兵器やテロ、人権侵害に関する関与・介入に対して、一般的にどのような姿勢を示すべきか。

- ・人権侵害については自国への非難を防ぐためになるべく言及しない。
- ・直接(2)に関係ないが、国際社会におけるプレゼンスを強めたがる

2 【外交政策】

(1) あなたの担当国は、これまでの DPRK 関連の会議において、どのような態度をとってきたか？

- ・北朝鮮への配慮＝強力過ぎる制裁は行うべきでなく、対話路線強調（「決議違反の連続で NK は対価を支払うべきだが、制裁・圧力は根本的解決にならない」）
- ・1・2 回目は比較的緩い対処だった一方、3 回目以降は圧力強化
背景：
①2 回目の核実験の際の経済制裁で、中国外交部は、「大量破壊兵器及びその運搬手段に断固反対し、安保理決議に厳格にしたがい、拡散防止と輸出規制のための法整備をしている」と述べたにも関わらず、湖北省の中国企業から兵器運搬用の車両が北朝

¹ 平岩俊司「北朝鮮核問題と 6 者協議」『アジア研究』、第 53 巻 3 号、2007 年 7 月、25-42 頁。

鮮に密輸されていたことが発覚した。²

②①は、中国政府の外交上の姿勢と内政との乖離という問題だけでなく、「中国政府が輸出管理をできていない」という問題の存在を示す。これが国際社会で批判を浴びたかどうかは別として、自国の貿易をコントロールできないという事実は中国政府にとって大変不都合。よって 3 回目以降の核実験の際はすみやかに安保理決議にしたがった経済制裁を適用している。

③さらに、3 回目の核実験は初めて中国への事前通達なしで行われた。（伝統的に、中朝外交では重要政策は事前通告することになっている）

*その他の理由としては、

- ・単純に朝鮮半島の非核化を進めたい（周辺諸国への核拡散、米朝間及び南北間の軍事衝突、NK 体制崩壊への危機感とそれに伴う難民流入のリスクなど³を懸念）

- ・NK 対策のために日韓が迎撃ミサイルなどを入手すると、中国の東アジアにおける軍事的プレゼンスが低下する

- ・国際社会からの圧力 などである。

- ・3 回目以降は国際社会と足並みを揃えて制裁に協力的（しかし石炭・鉄・鉄鉱石の民生目的での輸出は除外）。5 回目以降は China が自主規制を導入。2017/7 に ICBM 発射実験を受け民生目的の石炭鉄鉄鉱石の輸出禁止に賛同。

- ・二つの凍結（NK による核兵器開発&米韓合同軍事演習）

- ・東アジアのミサイル迎撃基地の設置を強く非難（China の軍事的存在感の低下、米国の存在感増加）→NK への刺激を懸念するという体

(2) あなたの担当国は、これまでの DPRK 以外の大量破壊兵器やテロ、人権侵害関連の会議において、どのような態度をとってきたか？

- ・民主化等に関しては消極的/言及しない

←そもそも安保理での議題に上がらない ex.イラク戦争

(3) (1) (2) での回答を踏まえ、今回の会議でどのように取り組めば、過去の政策との継続性が得られるだろうか？

- ・独裁政権であるという点、また体制維持という点では利害が一致しているので、そこに関しては理解を示すべき

- ・人権関連のことに関しては極力言及しない

² 堀田幸裕「北朝鮮の核問題と中国の制裁対応」『「不確実性の時代」の朝鮮半島と日本の外交・安全保障』、公益財団法人日本国際問題研究所、2018年3月、133-144頁。

³ 斎藤直樹「中国政府の『北朝鮮危機』への対応についての一考察—胡錦濤指導部の対北朝鮮政策を中心として」『山梨国際研究 山梨県立大学国際政策学部紀要』第9号、2014年、127-138頁。

・朝鮮半島自体の情勢安定化に重きをおく→対話路線強調＝軍事介入（米国）には反対

・しかし強い制裁に反対はしない（しかし同時に米韓の譲歩を求めるか）

(4) 今回の会議で外交政策の変更を行う蓋然性はあるか？あるとすれば、それは、どのような変更か？

・対話が重視されるような流れができてくるならば、米朝の仲を取り持つようなアクターとして振舞うことを重視すべき（一定の譲歩・妥協を視野に入れる）

3 【イイタイコト】

(1) 1・2 を踏まえ、あなたの担当国の主張が幾つかみえてきたと思われるが、それらの優先順位はどんなものか？

①朝鮮半島情勢の安定化



②米韓合同軍事演習の凍結と対話の重視（と日本韓国のミサイル迎撃基地を新たに設置しない）

(2) あなたの担当国のボトムライン（交渉の際にこれ以上は譲歩出来ないという線）はどこか？

・北朝鮮の体制転換には及ばないように気をつける（あくまで現行の体制は維持した上で朝鮮半島情勢の安定化を図る）

*3回目以降の制裁強化の理由が明確化されなければ確定は難しい

<理想的には>

・NK体制維持→ロシアも重視していることから、当該国との協議を検討

・NK非核化 and 朝鮮安定化 and 韓国のTHAAD除去

・米韓合同軍事演習の廃止

・NK,SKへのChinese influenceの増大

Policy Paper II ～「イイタイコト」を実現するために～

Country: China
Name: _____

Policy Paper I において、それぞれ「イイタイコト」が見つかったことと思われま
す。次に考えるべきは、その「イイタイコト」をどうやって会議の中で実現してい
かですね。その手段として、「決議案 (Draft Resolution: DR)」、「公式発言」、
「議論」、「交渉」と様々な場が考えられますが、それぞれの手段の特性を活かせる
方法を考えてみてください。

なお、本ペーパーにおける「議論」とは「理屈を通すことで解決 (コントロール)
できる」ものを意味し、「交渉」とは「理屈を通すことだけでは解決 (コントロー
ル) できない」ものを意味することとします。

1 【DR】

(1) あなたの担当国は、DR を書くと周囲から予想される国であるか？また、今回
の会
議において、実際どうするつもりか？

- ・ 圧力強化消極派の中では DR を書く可能性が高い
- ・ 米国の主張が中国にとって看過できないレベル (軍事行動によって体制転換を図る
など) であれば書く

(2) あなたの担当国が DR を書く際に強調する点は何か？ DR を書かない場合は、ど
のような文言であれば理想的か？

- ・ DR を書く場合
→あくまで北朝鮮の体制は現行のまま、朝鮮半島の情勢安定化を目指すべきである
段階的核兵器廃棄
米韓軍事合同演習の廃止
(核兵器廃棄をどのような形で評価するか→あくまで北朝鮮の自己申告制)
- ・ DR を書かない場合
→米国の DR が中国の方針と根本的に矛盾しない限り、米国が盛り込まないであろう
文言をこちらから追加していく
段階的核兵器廃棄

(3) あなたの担当国が DR を書く/読み込む際に注意する点 (表現) はあるか？ある
とすれば、それは何か？

- ・ 武力行使に頼らずに外交的努力をもって対応するべきだという点を強調
(米国の出方に注意)
- ・ 体制批判の文言は DR に掲載されてはならない (ひいては中国の体制批判につな

るため)

2 【公式発言】

(1) DRでは表しにくい公式発言では表明しやすいことはあるか？あるとすれば、それは何か？

・韓国と北朝鮮との首脳会談など、朝韓関係を強化するための機会を設けるべきだということを指摘+中国が二国間関係を仲介できる可能性の提示（米国と共に？）
→六者協議（日米中韓露北）の復活？

(2) あなたの担当国が公式発言において強調する点は何か？

・韓国と北朝鮮との首脳会談など、朝韓関係を強化するための機会を設けるべきだということを指摘+中国が二国間関係を仲介できる可能性の提示
（・あまりにも強硬な経済制裁は北朝鮮の体制崩壊を招く危険性があるので注意）

(3) あなたの担当国が公式発言をする/聴く際に注意する点（表現）はあるか？あるとすれば、それは何か？

・北朝鮮の体制転換につながるような人道的配慮は注意
→他国の出方に注意

3 【議論】

(1) あなたの担当国と議論になりそうな国（相手）はどんな国か？

米国：トランプ政権は、北朝鮮問題に対する前オバマ政権との姿勢の違いを明確化したがつている。

→武力行使も含めた高度の圧力を NK に向けようとしたり、NK と歴史的・経済的結びつきの強い中国を名指しで批判したりする可能性あり。

*一方で、就任して半年かつ反発勢力も多いトランプ氏にとっては米朝会談などによって北朝鮮問題が大きく前進すればレガシーとなりうる

日本：拉致問題が最大の懸念。また WWII で核兵器による攻撃を受けた唯一の国として、断固核兵器に反対。とはいえ自衛隊で NK に圧力をかけることは不可能であるため、米韓合同軍事演習中止にはかなり懸念を示すだろう。

(2) (1)での回答を踏まえ、相手国の主張に反論する「理屈付け」は何か？

対米国：一気に核兵器廃棄を実行すると評価しづらい&本当に達成されたかが確認できない

対日本：NK は抑止力から外交力に切り替え、対話路線に舵を切り始めている。よってこちらも一定の譲歩（米韓合同軍事演習中止）を行い、対話のための場をセッティングし、維持することが先決である。

←ただし、会議設定期間は 2017 年 9 月時点であり NK の瀬戸際政策中止は同 11 月以降である。¹よって、「核兵器という抑止力のみで各国と渡り合おうとする北朝鮮の政策はいずれ通用しなくなり、近々外交手段を変えてくるだろう。このことを考慮に入れば、対話路線を打ち出してくることも十分ありうる。」と主張したほうがよい？

(3) (1) での回答を踏まえ、あなたの主張への相手国からの反論に耐える「理屈付け」は何か？

・時間的猶予がない（既に何回も実験を行ってきている上、北朝鮮に改善の姿勢が見られない）→北朝鮮が核を他国との交渉材料として用いている以上、急激な核軍縮や全面的な核廃棄は北朝鮮の同意をむしろ得づらいため、段階的廃棄の方が現実的

・核兵器の威力が増してきている and 北朝鮮には新たな核を開発技術がある→でも即時核武装解除は実施不可能（北朝鮮の同意を得づらい&リソース的問題&あまりにも強硬な対策をとると核兵器による対抗のインセンティブを与えてしまう）

・核兵器廃止が真になされたかどうかを確認する手段に関しては、査察団を派遣するべきだ→これは過去の核兵器廃止の事後評価を見てから反論する

4 【交渉】

(1) 交渉による解決を目指す際に、barter（取引材料）となるものはあるか？あるとすれば、それは何か？

・査察団の派遣を認める代わりに米韓軍事合同演習の中止を要求する

・米朝会談の仲介をする代わりに米韓軍事合同演習の中止を要求する

・ウクライナを圧力強化消極派に取り込むことが可能であるならば経済援助も視野に入れる

・日本に対しては拉致問題/破壊兵器/国交正常化への働きかけを北朝鮮に要求することを交渉材料に利用できる可能性あり

・NK の非核化が進行した際に同時進行で SK からミサイル迎撃装備の除去（SK はそもそも配備の口実に NK の核のみを挙げていたから）

¹ 小此木政夫「経済教室 朝鮮半島シナリオを読む」『日本経済新聞』2018年4月10日。
小此木政夫「北朝鮮核危機とサミット外交」『アジア時報』537号（2018年）34-49頁。

- ・NK への制裁を China が保証することも交渉材料になり得る
- ・NK への国際的対応に積極的に参加したい日本にとっては、中国に四者協議ではなく日本込みの六者協議の場を設けてほしい

(2) 交渉には、二国間（バイ）のものと多国間（マルチ）のものがあるが、それらをどのように使い分ければよいだろうか？

- ・大国以外（=ウクライナ）には経済援助なども視野に入れる
- ・大国を含む複数国に対しては建前なども考慮した交渉を目指す

参考文献

国連安保理決議案

S_RES_1965、S_RES_1718、S_RES_1874、S_RES_2087、S_RES_2094、
S_RES_2270、S_RES_2321、S_RES_2345、S_RES_2356、S_RES_2371、
S_RES_2375、S_RES_2397

その他

- ・小此木政夫「経済教室 朝鮮半島シナリオを読む」『日本経済新聞』2018年4月10日。
- ・小此木政夫「北朝鮮核危機とサミット外交」『アジア時報』537号（2018年）34-49頁。
- ・斎藤直樹「中国政府の『北朝鮮危機』への対応についての一考察—胡錦濤指導部の対北朝鮮政策を中心として」『山梨国際研究 山梨県立大学国際政策学部紀要』第9号、2014年、127-138頁。
- ・平岩俊司「北朝鮮核問題と6者協議」『アジア研究』、第53巻3号、2007年7月、25-42頁。
- ・平岩俊司「中韓関係の『変動』と北朝鮮」『国際問題』655号、2016年10月、17-27頁。
- ・堀田幸裕「北朝鮮の核問題と中国の制裁対応」『「不確実性の時代」の朝鮮半島と日本の外交・安全保障』、公益財団法人日本国際問題研究所、2018年3月、133-144頁。